令和８年（２０２６年）９月１０日
公益財団法人 長野県産業振興機構
マーケティング支援部
TEL：026（227）5013
FAX：026（228）2867
E-mail：matching@nice-o.or.jp

登録受注企業経営動向調査結果

令和８年（2026年）７月分

公益財団法人長野県産業振興機構

≪ 目　次 ≫

ページ

Ⅰ 調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ 調査結果の要約 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ 経営動向調査集計結果

1・受注量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2・3 か月後の受注見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3・受注単価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4・操業度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

5・収益性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

6・取引条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

7・経営上の問題点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

8・今後の対応策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

9・回答企業の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

【資 料】

登録受注企業経営動向調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

Ⅰ　調査の概要

１　目　　的

長野県内の中小企業の経営動向を把握し、事業を推進する上での資料とするとともに、全体の動向について情報提供を行う。

２　対　　象

当機構登録受注企業より、任意に抽出した２００企業を継続的に対象としている。

３　時　　期

令和８年７月末現在の状況について、８月に調査を行っている。

４　方　　法

往復ハガキを使用したアンケートにより調査を行っている。

５　内　　容

調査内容については、【資料】登録受注企業経営動向調査票（１０ページ）のとおりである。
なお、現在の受注量及び収益性については、３か月前と比べた状況（増加・減少）（向上・悪化）を質問している。
調査結果については、ＤＩ方式を用いて、項目毎に動向を判断している。

＊ＤＩ（Ｄｉｆｆｕｓｉｏｎ　Ｉｎｄｅｘ）：「増加」、「上昇」、「向上」とする企業の割合から、「減少」、「低下」、「悪化」とする企業の割合を引いた値

６　回収の状況

対象企業数	200 社
回答企業数	180 社
回答率	90.0%

７　回答した企業の構成

Ⅲの９（９ページ）のとおりである。

８　調査の公表

本調査の結果は、当機構ＨＰに過去４回分と併せて掲載後、長野県発表資料（プレスリリース）に掲載される。各項目の構成比は四捨五入しているため、合計が１００％にならない場合がある。
https://www.nice-o.or.jp/info/info-76625/

登録受注企業経営動向調査について

当機構では、工業系製造業の事業者のうち、当機構による受発注のあっ旋・紹介を受けたいと申出をされた事業者の登録を行い、受発注のあっ旋・紹介、企業情報の提供、苦情・紛争の相談、その他展示会等に関する情報の提供などを行っている。
令和８年４月末現在、登録発注企業約1,３００社、登録受注企業約1,２００社となっている。
本調査は、上記１の目的で登録受注企業を対象とし、昭和５４年以降四半期ごとに実施をしている。

Ⅱ　調査結果の要約　令和８年（2026年）７月分

【概　況】

■ **受注量ＤＩは前回調査（４月分）に比べて大幅に上昇しており、３か月後の受注量見通しも上昇している。**

① 受注量ＤＩは２９．９となり、前回調査から１１．４ポイント上昇している。
内訳は、「増加した」とする企業の割合が前回調査より９．６ポイント上昇し、「減少した」とする企業の割合が前回調査より１．８ポイント低下している。

② ３か月後の受注量の見通しＤＩは、１３．５となり、前回調査より、１４．０ポイント上昇している。

③ 材料費込みの受注単価ＤＩは４５．６となり、前回調査より３．６ポイント上昇し、加工賃のみの受注単価ＤＩは２３．５となり、前回調査より５．４ポイント上昇している。

④ 操業度は、「１００%～８０%超」とする企業の割合が最も高く４３．６%である。前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が９．９ポイント上昇する一方、「１００%～８０%超」とする企業の割合が５．６ポイント低下している。また、今回「６５%～５０%超」「50%以下」とする企業が５．２ポイント低下している。

⑤ 収益性のＤＩは１４．５となり、前回調査より２１．６ポイント上昇している。

⑥ 委託事業者の取引代金の支払方法は、「全額現金」とする企業の割合が６５．２%と最も高く、次いで「現金と手形の併用」「全額手形」の順となっている。また、手形のサイトは、「９０日以内」「９１日～１２０日」とする企業の割合が４６．３%と最も高くなっている。

⑦ 経営上の問題点では、「求人難」とする企業の割合が、３３．０%と最も高い。次いで「経費の上昇（材料の高騰含む）」が２１．８%、「受注量の減少」が２０．７%の順となっている。

⑧ 今後の対応策では、「人材の確保・養成」とする企業の割合が４２．７%で最も高く、次いで「取引先の拡大」が１８．０%となっている。

⑨ 回答企業の構成は一般機械加工が３６．１%、次いで自動盤加工が１３．３%となっている。従業員規模別の構成は５０人以下が２６．０%、次いで１０人以下が２１．５%、１００人以下が１８．６%となっている。
受注量に変化があった製品について、増加と回答した企業は７４社となり、その内半導体関連が５５．４%と過半を占めた。減少と回答した企業は１９社となり、その内自動車部品が３１．６%となった。



1　**受注量**：ＤＩは２９．９

受注量DIは２９．９となり、前回調査より１１．４ポイント上昇している。

	今　回（4月）	前　回（4月）
増　加	４１．８%	３２．２%
横ばい	４６．３%	５３．６%
減　少	１１．９%	１３．７%
Ｄ　Ｉ	２９．９	１８．５

3か月後の受注量見通しＤＩは１３．５となり、前回の予測より１４．０ポイント上昇している。

	今回予測 （１０月見通し）	前回予測（7月見通し）
増　加	２２．５%	２０．０%
横ばい	６８．５%	５９．５%
減　少	９．０%	２０．５%
Ｄ　Ｉ	１３．５	▲０．５

2　**受注単価**：ＤＩは４５．６（材料費込み）、２３．５（加工費のみ）

（１）材料費込みの受注単価

受注単価ＤＩ（材料費込み）は、４５．６となり、前回調査との比較では、３．６ポイント上昇している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
値上りした	４６．２%	４２．６%
変わらない	５３．３%	５６．２%
引下げられた	０．６%	０．６%
DI	４５．６	４２．０

（２）加工費のみの受注単価

受注単価ＤＩ（加工費のみ）は２３．５となり、前回調査との比較では、５．４ポイント上昇している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
値上りした	２４．７%	２０．５%
変わらない	７７．１%	７７．１%
引下げられた	１．２%	２．４%
DI	２３．５	１８．１

3　**操業度**

操業度は、「１００%～８０%超」とする企業の割合が最も高く４３．６%である。前回調査と比べると、「１００%超」とする企業が9．９ポイント上昇している。また、「６５%～５０%超」とする企業が3．１ポイント、「５０%以下」とする企業が2．１ポイント低下している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
100%超	２１．８%	１１．９%
100%～80%超	４３．６%	４９．２%
80%～65%超	２７．４%	２５．９%
65%～50%超	６．１%	９．２%
50%以下	１．１%	３．２%

４　収益性：ＤＩは１４．５

収益性 DI は１４．５となり、前回調査との比較では２１．６ポイント上昇している。

	今　回（7月）	前　回（4月）
向上した	２８．９％	２０．１％
変わらない	５６．７％	５２．７％
悪化した	１４．４％	２７．２％
ＤＩ	１４．５	▲７．１

５　取引条件

委託事業者の取引代金の支払方法は、「全額現金」とする企業の割合が６５．２％と最も高く、次いで「現金と手形の併用」「全額手形」の順となっている。また、手形のサイトは、「９０日以内」「９１日～１２０日」とする企業の割合が４６．３％と最も高くなっている。

	今　回（7月）	前　回（4月）
全額現金	６５．２％	６２．７％
現金と手形の併用	３３．１％	３５．１％
全額手形	１．７％	２．２％
90 日以内	４６．３％	４９．３％
91 日～120 日	４６．３％	４１．１％
121 日～150 日	７．５％	８．２％
151 日以上	０．０％	１．４％

６　経営上の問題点

「求人難」とする企業の割合が３３．０％と最も高く、前回調査との比較では１４．６ポイント上昇している。次いで「経費の上昇（材料の高騰含む）」、「受注量の減少」となっている。

	今　回（7月）	前　回（4月）
受注量の減少	２０．７％	３４．６％
単価の引下げ	０．６％	１．１％
コストダウン・高品質化	１．１％	２．７％
経費の上昇（材料の高騰含む）	２１．８％	２３．８％
求人難	３３．０％	１８．４％
人件費の上昇	１０．６％	８．１％

７　今後の対応策

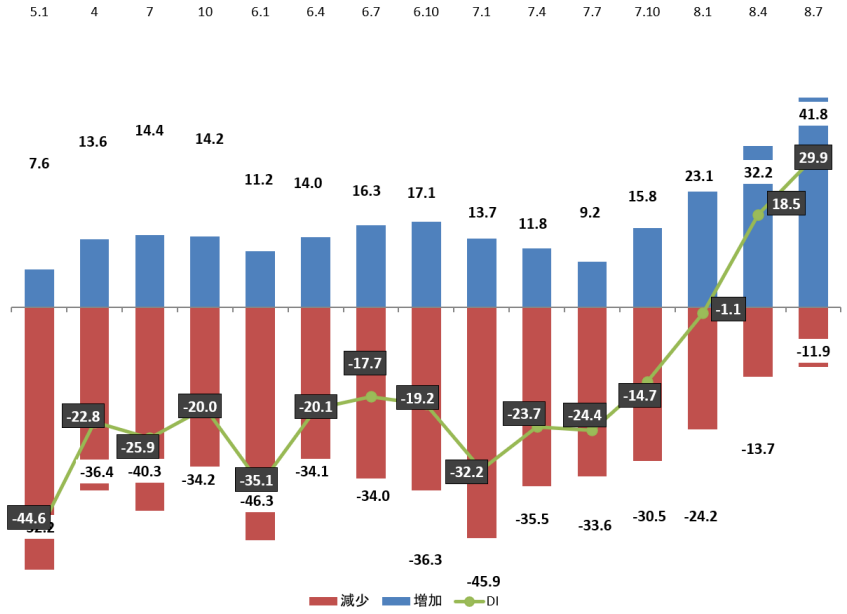
「人材の確保・養成」とする企業の割合が４２．７％と最も高い。次いで「取引先の拡大」「財務体質の強化」となっている。

	今　回（7月）	前　回（4月）
取引先の拡大	１８．０％	２８．３％
人材の確保・養成	４２．７％	４０．８％
多品種少量生産への対応	２．２％	１．１％
自社製品への取組強化	４．５％	２．７％
品質向上等による高付加価値化	５．１％	６．５％

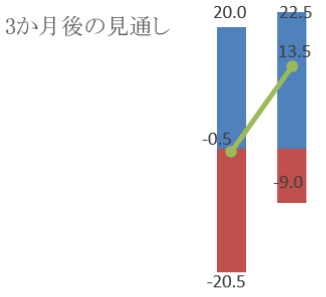
Ⅲ　経営動向調査集計結果（令和８年度・第２回分）

（注）　棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合である。
　　折れ線グラフ（ＤＩ）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いたものである。
　　構成比については、項目毎に小数第２位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

１　受注量



２　３か月後の受注見通し



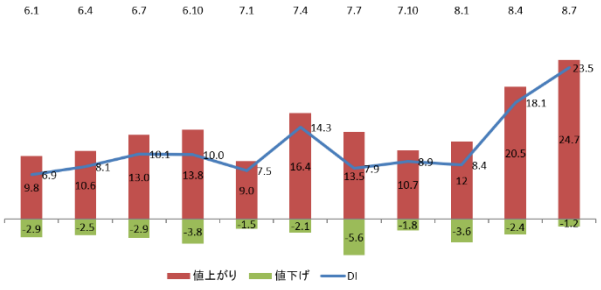
	'8.7	'8.10
増加	20.0	22.5
減少	-20.5	-9.0
DI	-0.5	13.5

３　受注単価

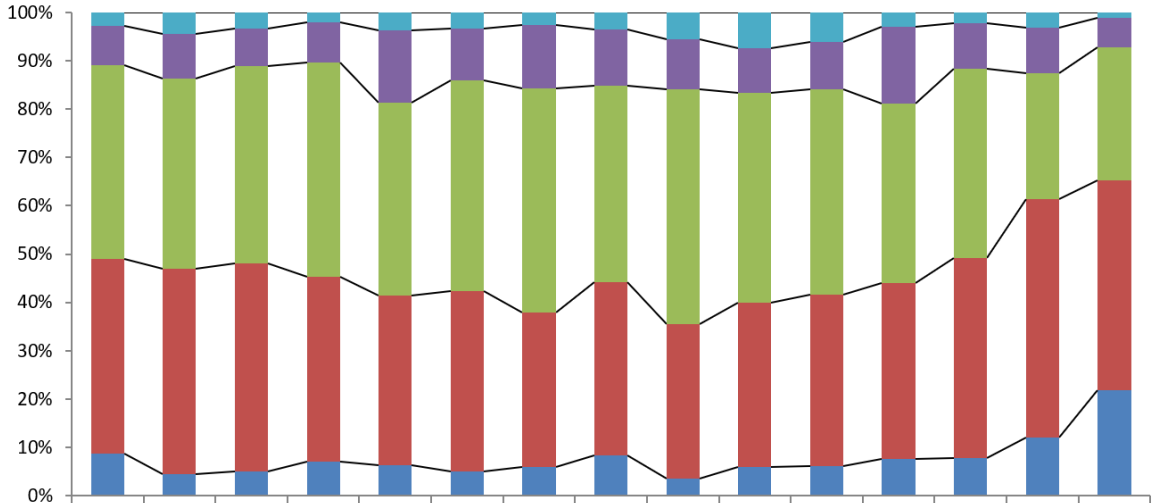
（１）材料費込みの受注単価



（２）　加工費のみの受注単価

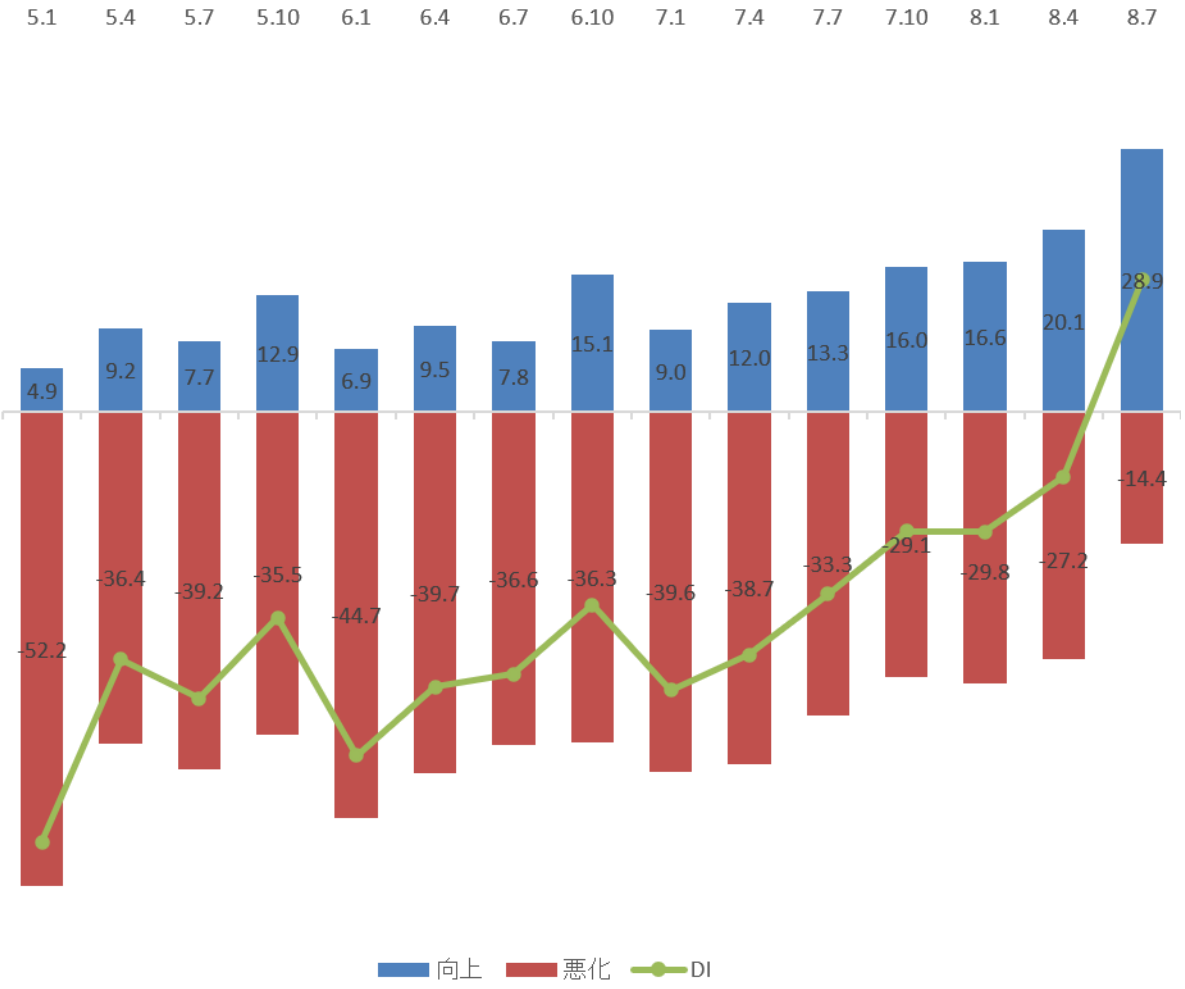


4　操業度



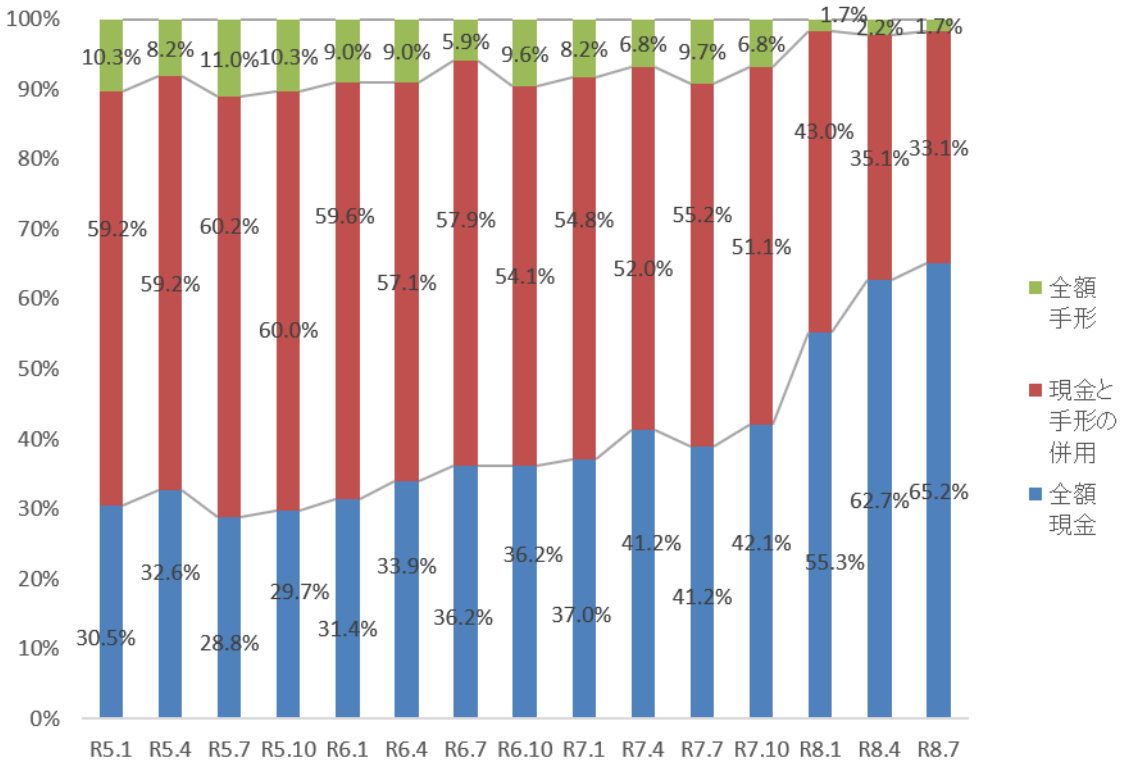
	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4	R8.7
50%以下	2.7%	4.4%	3.3%	1.9%	3.7%	3.4%	2.6%	3.4%	5.6%	7.3%	6.1%	2.9%	2.2%	3.2%	1.1%
65%～50%超	8.2%	9.3%	7.7%	8.4%	14.9%	10.7%	13.1%	11.7%	10.4%	9.3%	9.8%	15.9%	9.5%	9.2%	6.1%
80%～65%超	40.2%	39.3%	40.9%	44.3%	39.9%	43.5%	46.4%	40.7%	48.6%	43.4%	42.4%	37.1%	39.2%	25.9%	27.4%
100%～80%超	40.2%	42.6%	43.1%	38.3%	35.1%	37.3%	32.0%	35.9%	31.9%	34.0%	35.6%	36.5%	41.3%	49.2%	43.6%
100%超	8.7%	4.4%	5.0%	7.1%	6.4%	5.1%	5.9%	8.3%	3.5%	6.0%	6.1%	7.6%	7.8%	11.9%	21.8%

5　収益性

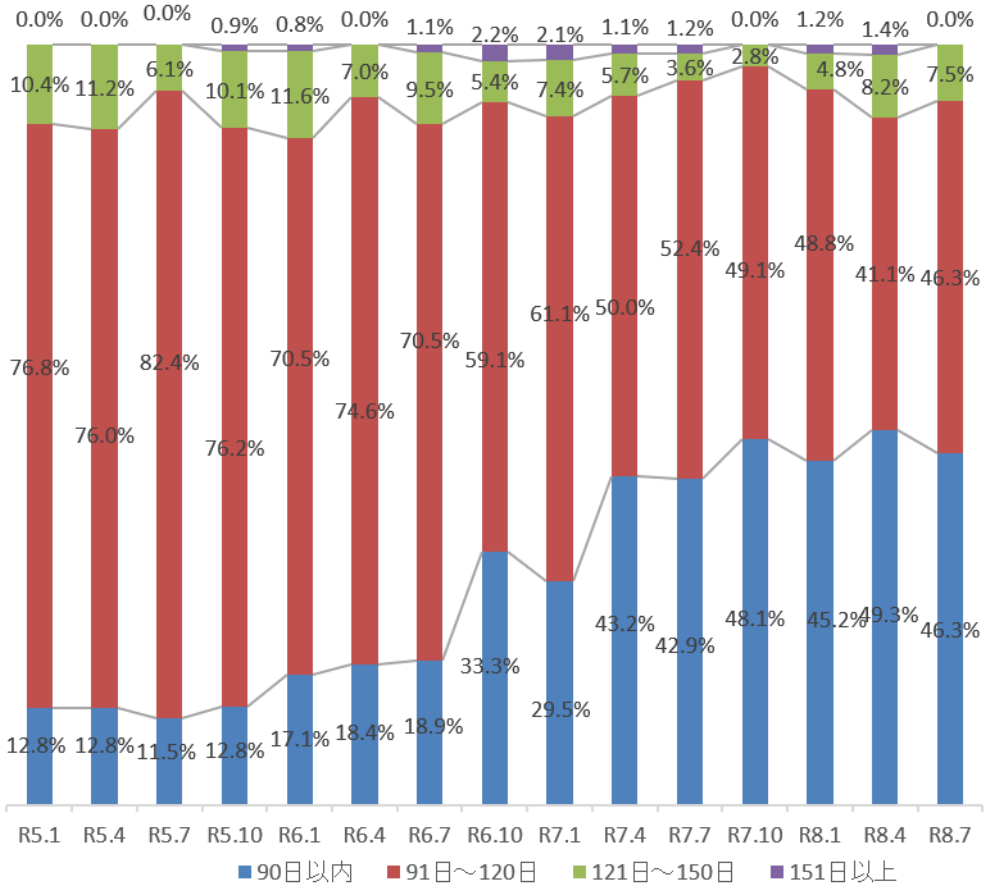


６　取引条件

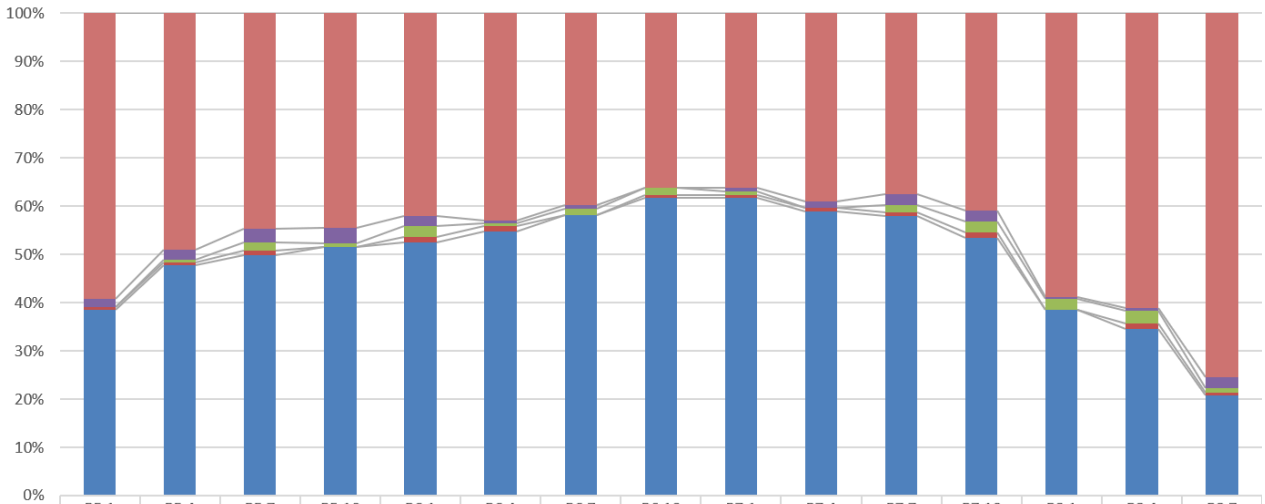
（１）委託事業者の取引代金の支払方法



（２）手形サイト

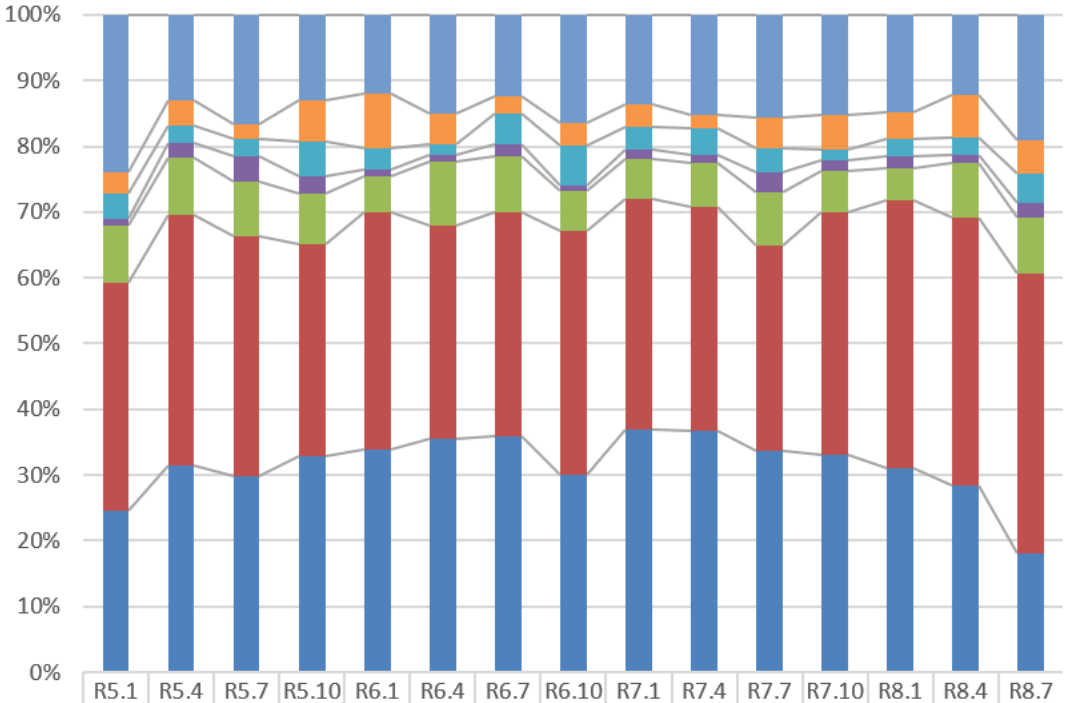


7　経営上の問題点



	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4	R8.7
その他	59.3%	49.0%	44.7%	44.6%	42.0%	42.9%	39.8%	36.3%	36.3%	39.1%	37.5%	40.9%	58.8%	61.2%	75.4%
小ロット・短納期	1.6%	2.2%	2.8%	3.2%	2.2%	0.6%	0.7%	0.0%	0.7%	1.3%	2.3%	2.3%	0.5%	0.5%	2.2%
コストダウン・高品質化	0.0%	0.5%	1.7%	0.6%	2.2%	0.6%	1.3%	1.4%	0.7%	0.0%	1.5%	2.3%	2.2%	2.7%	1.1%
単価の引下げ	0.5%	0.5%	1.1%	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	0.0%	1.1%	0.6%
受注量の減少	38.6%	47.8%	49.7%	51.6%	52.5%	54.8%	58.2%	61.6%	61.6%	58.9%	57.9%	53.4%	38.5%	34.6%	20.7%

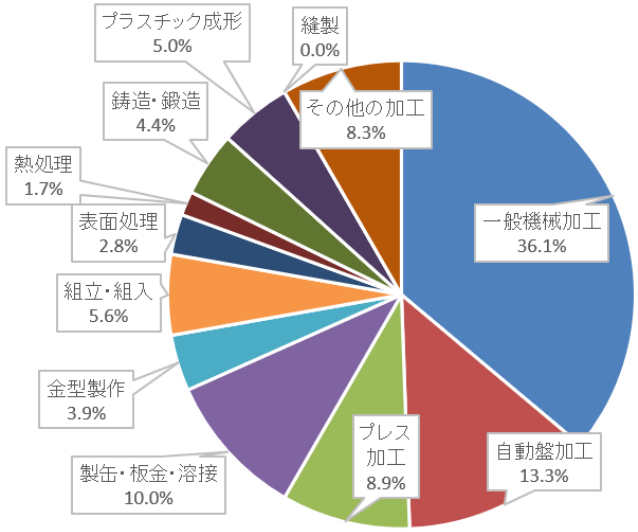
8　今後の対応策



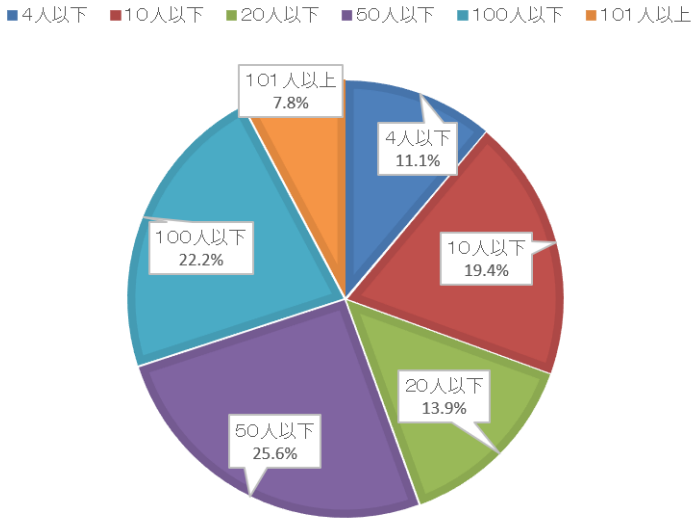
	R5.1	R5.4	R5.7	R5.10	R6.1	R6.4	R6.7	R6.10	R7.1	R7.4	R7.7	R7.10	R8.1	R8.4	R8.7
その他	23.9%	13.0%	16.6%	12.9%	12.0%	15.1%	12.4%	16.4%	13.7%	15.3%	15.7%	15.3%	14.9%	12.2%	19.1%
品質向上等による高付加価値化	3.3%	3.8%	2.2%	6.5%	8.2%	4.5%	2.6%	3.4%	3.4%	2.0%	4.5%	5.1%	3.9%	6.5%	5.1%
自社製品への取組み強化	3.8%	2.7%	2.8%	5.2%	3.3%	1.7%	4.6%	6.2%	3.4%	4.0%	3.7%	1.7%	2.8%	2.7%	4.5%
多品種少量生産への対応	1.1%	2.2%	3.9%	2.6%	1.1%	1.1%	2.0%	0.7%	1.4%	1.3%	3.0%	1.7%	1.7%	1.1%	2.2%
自動化・省力化によるコストダウン	8.7%	8.7%	8.3%	7.7%	5.5%	9.6%	8.5%	6.2%	6.2%	6.7%	8.2%	6.3%	5.0%	8.4%	8.4%
人材確保・養成	34.8%	38.0%	36.5%	32.3%	36.1%	32.6%	34.0%	37.0%	34.9%	34.0%	31.3%	36.9%	40.6%	40.8%	42.7%
取引先の拡大	24.5%	31.5%	29.8%	32.9%	33.9%	35.4%	35.9%	30.1%	37.0%	36.7%	33.6%	33.0%	31.1%	28.3%	18.0%

９　回答企業の構成

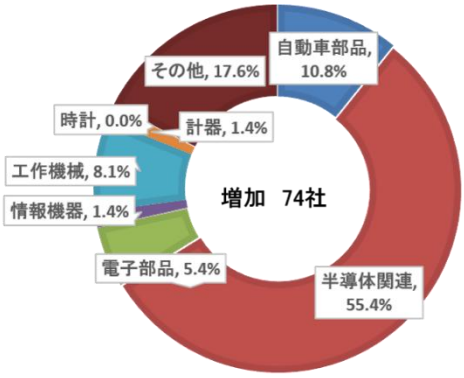
（１）加工別の構成

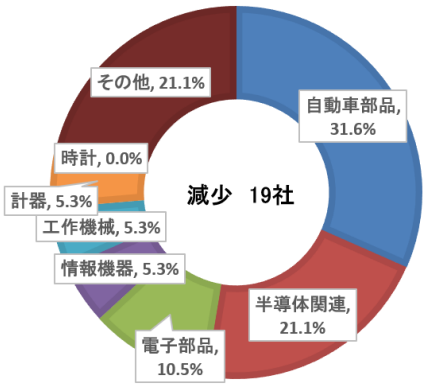


（２）従業員規模別の構成



（３）受注量に変化があった製品





登録受注企業経営動向調査票　令和８年度・第2回

（令和8年7月末現在）

◎記入上の御注意

下記の設問について、各々１つだけ〇印を付けて下さい。

※印の設問については「受注依存度の最も高い取引先企業を対象」として御記入下さい。

問１	現在の受注量は３ヶ月前に比べ		a.増　加　b.横ばい　c.減　少
	受注量の変化のあった（上の設問で「a.増加」か「c.減少」を選んだ）関連業種は何ですか。 １つだけ〇印をつけてください		a.自動車部品　b.半導体関連　c.電子部品 d.情報機器　e.工作機械　f.計器 g.時計　h.その他(　　)
問２	今後の受注量の見通しは（３ヶ月後）		a.増　加　b.横ばい　c.減　少
※問３	受注単価は、３ヶ月前に比べ	1 材料費込の場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
		2. 加工費のみの場合	a.値上りした　b.変わらない　c.引下げられた
問４	現在の操業度は生産能力に比べ		a.１００%超　b.１００～８０%超　c.８０～６５%超 d.６５～５０%超　e.５０%以下(　　%)
問５	収益性は３ヶ月前に比べ		a.向　上　b.変わらない　c.悪　化
※問６	委託事業者の取引代金の支払方法		a.全額現金　b.現金と手形の併用　c.全額手形
※問７	前問でb、cと回答した場合その手形サイトは		a.９０日以内　b.９１～１２０日　c.１２１～１５０日 d.１５１～１８０日　e.１８０日以上
問８	企業経営上、現在最も問題となっていることは何ですか。 １つだけ〇印をつけて下さい。		a.受注量の減少　b.単価の引き下げ c.求人難　d.長時間労働 e.小ロット・短納期　f.コストダウン・高品質化 g.人件費の上昇　h.経費の上昇(材料の高騰含む) i.経営者の高年齢又は後継者難 j.機械設備の陳腐化 k.資金繰り　l.その他(　　)
問９	今後の経営の方向について貴社としてどのような対応が必要とお考えですか。 重要とおもわれるもの１つだけ〇印をつけて下さい。		a.人材確保・養成　b.取引先の拡大 c.労働時間の短縮　d.自動化・省力化によるｺｽﾄﾀﾞｳﾝ e.福利厚生制度・施設の充実 f.多品種少量生産への対応 g.品質向上等による高付価値化 h.工程管理・納期管理の徹底 i.財務体質の強化　j.自社製品への取組み強化 k.経費節減　l.その他(　　)

ご協力ありがとうございました。

貴社の従業員数	イ.１～４人 ニ.２１～５０人	ロ.5～１０人 ホ.51～１００人	ハ.１１～２０人 ヘ.１０１人以上
最もウェイトの高い加工	a.一般機械加工 d.製缶・板金・溶接 g.表面処理 j.プラスチック成形	b.自動盤加工 e.金型製作 h.熱処理 k.縫製	c.プレス加工 f.組立・組入 i.鋳造・鍛造 l.その他の加工